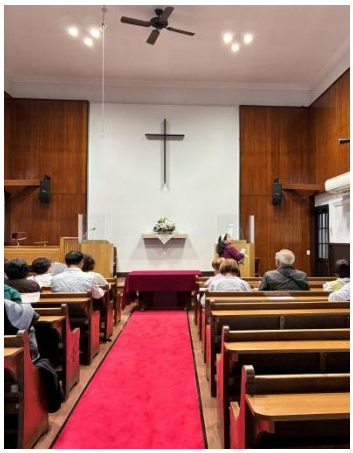
ONCC 近代建築の遺産を訪ねて

1 班

日本キリスト教団大津教会



大津教会（外観）
唱和３年の建築,
設計はウイリアム・メレル・ヴォ-ﾘｽﾞ（1880～1964）
日本基督教団・プロテスタント系基督協会と幼稚園からなる。



主日礼拝は、毎週日曜日に行われ、讃美歌を歌い、祈りを捧げ牧師を通じて宣教を聴きます

滋賀県庁舎本館



大津市役所
唱和１２年（１月）着工。唱和１４年５月完工。設計は佐藤功一國枝博、施行は大林組。庁舎は両翼に大きく伸びた事務棟からなる。



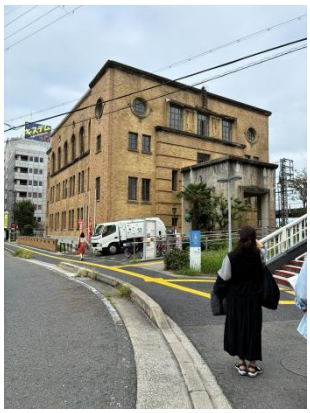
県庁内は、１階の外壁部は人造石、スクラッチタイル張りの主層、上層屋根部分は、単純な装飾の３層構成、細かな装置は控えめである。

御饅頭処餅兵



江戸時代創大福業（1751～1763）創業。名物は、ピスタチオあんの大福です。旧東海道沿いにある老舗のお饅頭店です、

大津市社会教育会館（旧大津公会堂）



唱和９年（1936）の建物。鉄筋コンクリート作り。大津公会堂として建設。戦後は、大津公民館、現在は、社会教育会館として使用。

琵琶湖大津館



琵琶湖大津館は（1934）年に外国人誘致の国策のもと、県内初の国際観光ホテルとして建築物。創業当時は、「湖国の迎賓館」として唱和天皇をはじめ多くの皇族が宿泊された。



１階の玄関内は、深紅のカーペットは、当時の写真や従業員の話を基に再現された。